

法人（事業所）理念		・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。 ・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。 ・安心安全な環境作りに努めます。			
支援方針		・自分自身で身支度やご飯を食べられるようになるなど、身辺整理や身辺自立を主の目的として、日々の生活や活動を行っていく。 ・小集団で生活をしていく中で、お友達や職員、地域の人々と触れあう機会を提供し、日常生活の中で社会性やコミュニケーション能力を養っていく。 ・出来たことに関して褒めて成功体験を養うことで、自身の自己肯定感を向上させ、スモールステップで成長する様子を保護者様と共有していく。			
営業時間		10 時 30 分から 16 時 30 分まで		送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	生活：自分自身で朝の身支度やご飯を食べられるようになる、トイトレを行う等、未就学児のうちから身辺整理や身辺自立を行うことで、就学を見据えて小集団の中で生活をしていく。 食育：普段食べられないものも扱う事で、食べられるものを増やしていく。 食べる事が出来たものや、調理のお手伝い方法などを日々の送迎で保護者様へお伝えし、ご家庭でも出来るようにレシピの共有なども行っていく。			
	運動・感覚	運動：公園や体育館などで活動し、身体を動かすことにより、体力づくりや体幹トレーニングを行っていく。 食育：実際に食材に触れ、調理法や工程を学ぶ過程で、食材や道具に触れる機会を養っていく。			
	認知・行動	見通し：朝の会で1日の予定を確認し、見通しを持ってその日の行動ができるようにしていく。 認知・運動：公園の遊具で遊ぶことでルールや順番を守ることや、バランス感覚・位置感覚といった空間認識能力を高めていく。			
	言語 コミュニケーション	表現：手や言葉を使って「やって」など自分の気持ちを伝えられるよう、個に沿ったサポートを行っていく。 言語：「かして」など他児とのやり取りを行う事で、コミュニケーションや協調性を養っていく。 コミュニケーション：職員だけでなく、地域の方など様々な人と交流していくことで、社会的スキルを身につけていく。			
	人間関係 社会性	遊び：ルール性のある遊びや玩具遊びを通して、順番を待つことや、自分の気持ちや考えを伝える力などを培い、人との繋がりを養っていく。 社会：遊びや日々の関わりを通して、お友達や大人との関係づくりを楽しみながら、人と接する力を身につけていく。 外出：公共交通機関を利用した外出や公共施設へ外出を行い、普段関わりのない方々と触れ合う事で、社会性の基礎を育んでいく。			
家族支援		・日々の送迎時に、ご家庭の様子や事業所での様子を保護者様と共有し、お困りごとに対する相談援助を行っていく。 ・関係機関や併用施設などとも連携を図りながら、お子さまにとって最適な支援を進めていく。		移行支援	・就学に向け、お子さまの特性や、施設での様子、関わり方などを就学先と共有し、連携を図っていく。 ・必要に応じて施設を訪問し、行事やイレギュラーなことが起こった際の関わり方などを具体的に共有していく。
地域支援・地域連携		・地域の行事や人とのつながりを通して、社会の中での関わりを広げられるよう、楽しく参加できる機会をつくっていく。 ・相談支援事業所や保育園などと、日々の様子や支援の方向性を共有しながら、お子さまが各環境で適切に関わりが持てるようサポートしていく。		職員の質の向上	・外部研修への参加、社内研修の開催を定期的に開催し、職員ひとりひとりの障害への知識を深めていく。 ・毎日、自身が行った支援についての振り返り、虐待防止に繋げる。 ・事故報告やヒヤリハットの作成を通し、再発防止に努める。
主な行事等		・保護者会の開催：年1回実施 ・季節に合わせたイベントや活動を月間プログラムに盛り込み、季節感を知るキッカケをつくっていく。（花見、水遊び、ハロウィン、クリスマス等） ・公共交通機関を利用した外出レクや、遠くの施設へのお出かけなどをして、非日常的な体験を取り入れていく。 ・公共施設への外出を通して、様々なことを楽しみながら学んでいく。			